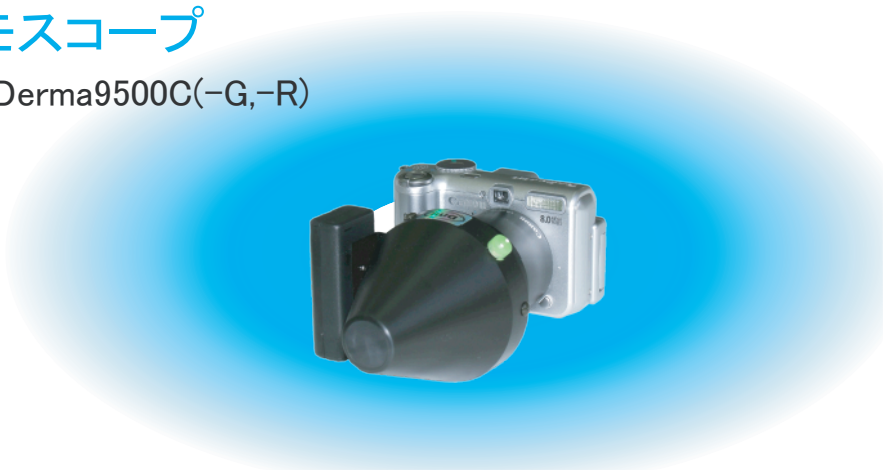
取扱説明書

皮膚科用

ダーモスコープ

Model : Derma9500C(-G,-R)



ご使用の前に

この度は、当社製品をご採用頂きまして有り難うございます。ご使用前には
取扱説明書をご一読され、十分ご理解のうえご利用頂きますようお願い致します。
注意事項について、Powershot A630/A640使用説明書に記載された安全上の注意事項にもご留意ください。

Derma9500Cダーモスコープは
皮膚科用に設計されたものです。
その目的以外の使用は避けて下さい。

使用上のご注意

1. 通常使用しない時は、バッテリーケースの電源スイッチを「Off」にする。
   何かの弾みでスイッチが押されてバッテリーを駄目にしてしまう事を防ぎます。
2. 使用中に照明が不良になった場合はデルマ医療までご連絡下さい。
   一年間無料で交換します。
3. 清掃では接写部ユニットは柔らかい布で拭いて下さい。
   ベンゼン、アルコール等高揮発性溶液は使用しないで下さい。
   フィルターガラス等は、検査終了の度に必ずアルコール綿等で清掃して下さい。
4. 照明光源を持っていますので光に過敏な人へは避けて下さい。

デルマ医療(資)
横浜市南区永田南 2-11-26　TEL:045-731-2584
FAX:045-714-3763
E-mail:dermamdinc@ybb.ne.jp
URL:http//:WWW.geocities.jp/dermamdinc/derma/

セット内容の確認

Derma9500Cには以下のものが同梱されています。

●カメラ本体一式(Powershot A630 or A640: Canon 製)
詳細は、キャノンカメラ本体の使用説明書をご覧下さい。

●接写撮影アダプター一式
エコージェル、又は、偏光フィルターモジュール

注1) 単三アルカリ電池2個は既に装填済です。
注2) Derma9500C-G エコージェルモデル
(スイッチつまみの色は緑色)
Derma9500C-R 偏光フィルターモデル
(スイッチつまみの色は赤色)
注3) Derma9500C-GR 上記2種類モデルのセット
(2種類のモジュールとカメラ1台のセット)

アダプターをカメラに取り付ける

接写撮影アダプターをカメラ本体に取り付けます。

1 カメラ全面のリングをまず外す必要が有りますが、
既に出荷時は外して有ります。

2 接写撮影アダプターの「●」印とカメラのリング取り
外しボタンと位置を合わせて矢印方向に廻しながら
ロックが掛かるまで廻す。

注)外す場合は、
リング取り外しボタンを押しながら反対方向に廻して外す。

初期設定について

カメラ本体には、出荷時に下記の設定が実施されています。
皮膚科用ダーモスコピーに必要な設定になっています。
何らかの事情で変わった場合、下記の内容で再設定して下さい。

●撮像モード(P、Tv、Av、M)
この場合は、Avをモードダイヤルで選び、絞り値F6.3を選ぶ。
(使用説明書応用編42頁参照)

●セットメニュー
節電 : オートパワーオフ:「入」設定。(使用説明書応用編22頁)
ディスプレイオフ:「3分」設定
日付・時刻 : (使用説明書基本編8頁)
カードの初期化 : (使用説明書応用編26頁)
縦横自動回転 : 「切」に設定
(使用説明書応用編68頁)

●撮像メニュー
撮像の確認: 「3秒」設定
(使用説明書基本編10頁)
デジタルズーム: 「入」設定
「5. 0x」(A630)、「5. 6x」(A640)に設定
(使用説明書応用編29／30頁)

●Func. ボタン設定
マニュアルホワイト設定: LED照明を点灯して、「Set」ボタンを押す。
(使用説明書応用編54／55頁)
画素設定: 「3264 x 2448」:A630、又は「3648 x 2736」:A640
の 設定と「ファイン」に設定。(使用説明書応用編27／28頁)

Cカスタム設定で上記の項目の設定とズームで撮像サイズを
「5. 0x」の設定とマニュアルフォーカスで
ガラス面で合うように設定してそれらを全て設定できる
カスタム登録を行ってあります。

撮像する

1 撮影モードダイヤルで「C」に合わせます。

設定は全てなされていますので、撮影を行うだけで調整は必要有りません。

電源を「ON」してから6秒間細かい表示が出ますが、その後消えます。

2 被検部を撮像して液晶でフォーカスや撮像箇所をチェックします

被検部が平面でなければマニュアルフォーカスで調整します。

注：撮像場所によってはカメラの液晶ディスプレイを収納から出して見易い位置に設定して準備します。

3

Derma9500C-G エコージェルモデル

ガラス面を拭いて、被検部と全面ガラスの間にジェルを利用して反射光を削減ためガラス面にジェルを塗ります。患部に押し当てながらジェルを延ばして準備します。

Derma9500C-R 偏光フィルターモデル

ガラス面をアルコール綿で拭いて準備します。

4 スイッチを押して照明しながら、被検部を撮影します。

注1. バッテリーケース下側の裏にある照明用種電源スイッチ（スライドタイプ）を使用する時だけ「ON」にします。使用しないときは、必ず「OFF」にして下さい。何かの弾みでプッシュスイッチが「ON」になりますとバッテリーが駄目になります。

注2. どうしても片手での撮像が必要になる場合は、照明用つまみを左右どちらかに90度回転させます。スイッチは「ON」で保持します。又、90度廻せばスイッチは元の状態になります。スイッチを「ON」ままでいますとバッテリーが駄目になりますのでご注意下さい。
（印が前方に向いている時は通常のスイッチ動作します。印が横になった時がスイッチが固定で「ON」になります。）

5 撮影後3秒間再生される画像をチェックして撮像時と同じ画像を確認します。

撮像した画像を見る・カルテ、臨床撮影

カメラ本体の液晶モニターで観察する

本システムでの診断を実施する場合、一旦撮影し液晶モニターの電子ズームで最大約10倍まで拡大して観察出来ます。

1. モードスイッチを「再生モード」に設定する。

2. ズームレバーで拡大して観察します。

上下ボタンと左右ボタンで観察場所を調整して設定します。

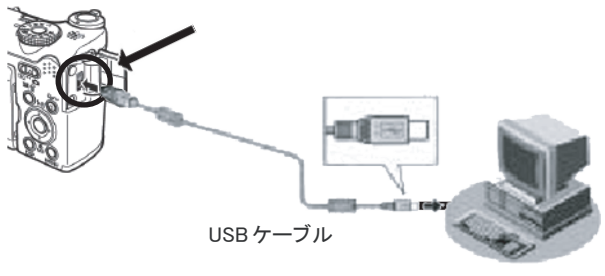
注1. 患者さんと撮像画像を間違いなく結びつける必要があります。その為、撮像後直ぐに画像を再生して「DISP.」のボタンを押すと画面右上に「100－0111」の連番番号が表示されます。下4桁が画像番号になります。その番号をカルテに記入します。「DISP.」ボタンを二度押すと元の再生画像に戻ります。

注2. 被検部以外の撮影で、カルテ等別に撮影する場合はダーモスコープモジュールを外します。
撮影ダイヤルを「AUTO」にします。
カルテの撮影の場合はレンズの焦点距離を広角（ワイド）に設定して下さい。

注3. 皮膚の臨床撮像
撮影ダイヤルで、「Av」モードに設定します。工場での出荷では、下記1）～3）は設定しますが、4）と5）はその都度調整して下さい。
1）ISO感度設定：［AUTO」
2）AWB　　：［AUTO」
3）フラッシュ　：［ON」
4）レンズ焦点距離：「Wide」（広角）
5）フォーカス　：マニュアルモードにして調整
被検部との距離は15cm以上離して撮影して下さい。
フラッシュが強いので近づけすぎますと画像が白つぶれとなり易くなります。

パソコンとの結合

カメラ付属のUSBケーブルで、パソコンに簡単に接続できて、撮像済みの画像をモニターにて観察・保存できます。
添付のキャノンのソフトをインストールして使用します。
SXGAグレードのモニターを使用すれば、撮像画像と同じような画質で観察できます。
テレビの画質（VGAグレード）より、鮮明な画像が得られれます。
（使用説明書基礎編24－31頁）



テレビを使って撮像・再生する

パソコンとの結合と違って画像の転送操作の必要なく、再生時にテレビモニターと接続すればそのまま画像がモニターに出ます。
1.カメラの端子にAVケーブルを接続する。
2.テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する。
（使用説明書応用編92頁）

バッテリーケースの電池の交換

照明が暗くなったきた場合又は照明が点灯しない場合は乾電池の交換をします。

1. バッテリケースのネジを緩めて外します。
2. バッテリーの蓋を下にずらして外します。
3. 新しい乾電池に交換します。
（電池の極性を正しい向きで入れて下さい。）
4. ふたを締めて、専用ビス1本を締め付けます。

修理について

● 修理等で当社へ送付される場合は、カメラ本体・接写部ユニットを分解し、クッション等で梱包して送付して下さい。

保証について

・購入日（出荷日）などを当社で自動登録していますのでデジタルカメラ本体の底にあるシリアル番号をご連絡頂ければ対応します。
・保証期間については、ご購入後一年間です。
・基本的にはカメラ本体は「キャノン販売株式会社」の保証、当社接写部の保障内容も同様内容です。

「保証規定」
1. 一年間の無償修理期間後は有償となります。
2. 故障原因が次の場合は保証範囲の枠外となり有償となります。
1）取扱い上不注意、誤用による故障および損傷
2）当社以外の修理、改造、分解掃除等による故障および損傷
3）泥・砂・水かぶり、落下、衝撃等が原因で発生した故障および損傷
4）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
5）保管上の不備や手入れの不備による損傷
3. 消耗品類は本保証の対象とはなりません。
4. 修理費品の運賃、諸掛かり費用はお客様にてご負担願います。
5. 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用及び撮影により得られるべき利益の喪失など）については補償致しかねます。